

Windows から様々なアプリケーションを実行し、業務や開発を効率化する為に Windows のデスクトップからの操作と重要なアプリケーションの核となるポイントを把握しておく必要があります。

Windows にユーザでログインして**最初に表示される情報**は大きく分けて3種類あります。

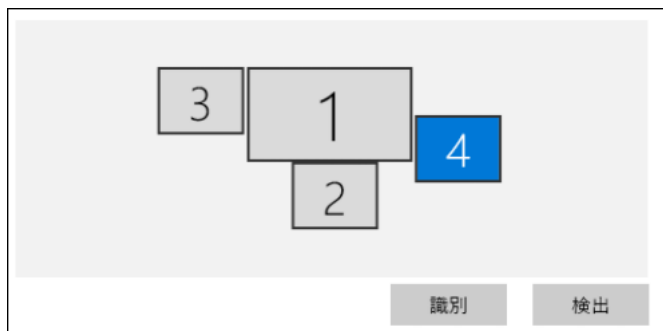
A :

B :

C :

A は特殊フォルダです。  とファイル名を指定して実行やエクスプローラのアドレスバーに入力する事でそこにあるファイルの一覧を表示する事ができます。この一覧に表示されるのは、B です。Cにはさらに様々な情報が表示されていますが、日本語入力に関する  の扱いは重要です。

A は、フォルダという側面と  という側面を持ちます。なので、必要なデバイスを整備すると  という拡張が可能になり、他のデバイスに **A 中にある情報を表示**する事が可能になります。これは、特殊なアプリを使う事によって、他のデバイスはスマホやタブレットでも可能です。その際に利用するデバイスは無線LAN子機で可能で、  という機能で有線LANのPCにスマホ等からWiFiで接続可能になった状態で可能になります。



さらに、  で起動された拡大鏡によって、A は画像データ+αとしてシステムに管理されるようになり、拡大鏡の  機能によって、システム経由で取得可能な文字が**機械音声**に変換されます。また、Zoom では画面共有時には Zoom のコントロールが相手側に表示されませんが、拡大鏡を起動すると表示されるようになります。

B はファイル・フォルダそのものか、ユーザがアプリケーションを起動する為のショートカットが殆どとなりますが、システムが管理するものもあり、表示・非表示を  でチェックボックスで指定します。このダイアログは【個人用設定】>【テーマ】の右サイドにある**関連設定**からリンクされています。

C の一番右端をクリックすると即座に  を表示する事ができます。その後、  でシャットダウン等を選択可能なダイアログを表示する事ができます。

